

総括質疑

3月定例会では、5人の議員が会派を代表して令和4年度予算に対する総括質疑を行いました。

令和4年度予算に対する市長の見解について



創政会
小沼 富夫

Q 令和4年度当初予算は、一般会計、特別会計、下水道会計で、それぞれ過去最大規模を更新したが市長の見解を聞きたい。

A 【市長】これまで、しあわせ創造都市いせはらの実現を目指し、諸施策を着実に推進するとともに、財政健全化に取り組みできた。4年度は、その成果を次の総合計画へとつなげていく節目となる重要な年となる。

予算規模は過去最大となったが、その財源として、国県支出金などの特定財源を最大限に活用するほか、2年度決算に基づく繰越金を積み立てた財政調整基金からの繰入金や、3年度決算見込みで上振れが期待される、市税の増を見込む前年度繰越金を活用することとしている。市債残高を縮減するなど、財政健全化にも配慮し、コロナ禍にあっても、未来への歩みを着実に進めるため

の予算となるよう尽力した。

地域包括ケアシステム構築事業について



公明党
中山真由美

Q 24時間365日対応可能な高齢者いつでも安心電話相談の取り組み状況および効果について聞きたい。

A 【保健福祉部長】これまで延べ348件の利用があり、相談内容としてはメンタルヘルスや病気の介護に関するものが多くなっている。利用の3分の2が日中の時間帯であることから、地域包括支援センターの業務負担軽減になっていること、さらに、24時間365日無料で看護師などの専門職に電話で相談できることから、在宅高齢者の安心感につながっているものと捉えている。

今後、さらに利用者数を増やしていくために普及啓発を図っていききたい。



総括質疑とは、本会議で市長（執行機関）に対し、一般会計予算、特別会計予算および公営企業会計予算について総括的に疑義を問うことをいいます。予算や決算の議案内容は膨大なため、総括質疑の後、3つの常任委員会でも所管ごとに、より具体的な審査を行っています。

東部第二土地区画整理事業について



いせはら未来会議
橋田 夏枝

Q 固定資産税が令和2年度から段階的に増収とのことだが、2年度は何社から新たな固定資産税が入り、3年度は何社が追加になっているのか。また、来年度以降、どのぐらいの固定資産税が毎年見込まれる予定か聞きたい。

A 【税務担当部長】2年度に2社、固定資産税額は3100万円余りで始まり、3年度には12社が追加され、今後各社の家屋が順次竣工していく。4年度からは、土地、家屋、償却資産を合わせ、東部第二土地区画整理地区内の固定資産税額は約2億8000万円前後になると推計している。今後の各社の建築家屋に対する固定資産評価額の算定結果を待たなければ、正確な金額は申し上げられないが、10年度からの固定資産税収は、現時点においては約3億円程度を見込んでいます。

市民の暮らしの状況認識について



日本共産党
宮脇 俊彦

Q 課税所得金額を見ると令和3年度分300万円以下の割合が増える一方1000万円以上が増えるといった格差が広がっている。市として、市民の暮らしの状況をどのように認識しているか聞きたい。

A 【市長】働く環境や理由が、人によりさまざまであるため、数字のみで判断することが難しいと考えるが、これまで増加してきた課税所得者の総数が減少するなど、新型コロナウイルス感染症の影響等により市民の暮らしが厳しくなっていることは認識している。

市民が必要なサービスを受けられるよう、きめ細やかな相談体制に努めるとともに、市民生活の安定が第一と考え、各種給付金の支給など、国の施策に適切に対応し、社会保障施策を継続していく。

市長にとって持続可能なまちづくりとは



いせはら進誠会
山田 昌紀

Q 市長にとって、持続的なまちづくりとはどのようなものか。

A 【市長】将来にわたって伊勢原に住んで、良いまちだなと思ってもらえるまちを目指している。そうした中で、市民が安全安心、そして生き生きと暮らせるまちをつくることだと考える。

コロナ禍で生活様式や価値観などが大きく変わり、今後も変化していく。こうした環境変化を的確に捉え、安全安心な暮らしに必要なサービスや機能を提供するために必要な税財源を確保することが求められており、適切かつ柔軟に対応できる行政経営、財務体質の構築に努めることが必要ではないかと考えている。



令和4年度 議会費予算

今年度の議会費予算の概要は次のとおりです。市の一般会計（歳出）に占める割合は約1%です。

区分	金額	主な内容
報酬	1億611万6千円	・議員報酬
給料	2,772万7千円	・職員給料
職員手当等	6,472万4千円	・議員期末手当 ・職員諸手当
共済費	4,328万4千円	・議員共済費 ・職員共済費
報償費	8万9千円	・各種行事等議長賞
旅費	187万6千円	・所管事項調査旅費 ・普通旅費
交際費	38万5千円	・議長交際費
需用費	258万5千円	・議会だより印刷代 ・図書追録代
役務費	521万1千円	・議会だより配布手数料 ・会議録反訳料
委託料	494万1千円	・インターネット映像配信システム管理運営
使用料及び賃借料	529万9千円	・インターネット映像配信設備賃借料 ・議会用タブレット端末等賃借料
備品購入費	356万4千円	・議員控室デスク・チェア購入費
負担金、補助及び交付金	557万4千円	・政務活動費交付金 ・議長会等負担金
合計	2億7,137万5千円	

令和4年度各会計予算総括表

会計名	予算額	対前年度伸率(%)	
一般会計	346億9,500万円	5.5	
特別会計	国民健康保険事業	97億4,600万円	0.7
	用地取得事業	1億2,200万円	-29.5
	介護保険事業	79億2,200万円	4.1
	後期高齢者医療事業	15億3,400万円	4.6
公営企業会計	公共下水道事業	61億2,700万円	6.8
合計	601億4,600万円	4.5	